

調理科「とちぎの伝統食文化の発信」の活動が
平成 28 年度 とちぎ地産地消夢大賞「優秀賞」を受賞！

平成 28 年 10 月 19 日（土）県議会議事堂で行われた「とちぎ食育推進大会 2016」で、本校調理科が、次の活動内容により「とちぎ地産地消夢大賞 優秀賞」をいただきました。

【活動内容（一部）】

昨年、徳川家康公四百年公奉祀を迎えて、江戸時代に行われていた江戸・日光社参が復活したのを契機に、「とちぎの伝統食文化を全国に発信したい」と日光東照宮に残る日光社参時の献立文献をもとに、地元の優れた食材を使用して、将軍たちが宇都宮城で食したであろう「うつのみや江戸御膳」を再現しました。

また、この「うつのみや江戸御膳」から学んだ地元の伝統食材の豊かさやおもてなしの心を全国に広めたいと「吉宗公辯當」として地元企業（フタバ食品）と共同開発しました。

このお弁当は「宇都宮城址まつり」で、宇都宮城主の宗家（本多家、宇都宮家、戸田家）の方々に召し上がっていただきました。

また 11 月には、東京駅前行幸通りで行われた「日光社参ウオークの出立式」で販売をして大変好評を得ました。

今回の取り組みを通じて、全国的な行事が毎年のように行われていた宇都宮を誇りに思えるようになりました。これからも地元の伝統文化を大切にして地域との連携を行ない宇都宮市や栃木県の魅力を全国に発信していきたいと考えています。



鈴木葵(3年)さんが代表で、表彰状をいただきました。



宇都宮城主宗家の方々にお弁当のおもてなしをしました。



フタバ食品と共同開発した「吉宗公辯當」再現された「うつのみや江戸御膳」「東京駅前行幸通り」で福田知事と記念撮影